私たちの生活と安全・安心を支える港のはたらき
－生活に密着した物資や緊急物資の輸送に効果を発揮！－

◇生活に欠かせない物資の輸送

茨城港は首都圏と北海道を結ぶ物流拠点としての役割を担っています。

○北海道航路で取扱っている貨物の紹介
北海道→茨城港：生乳，野菜，水産物，紙など
茨城港→北海道：日用品，野菜，輸送機械など

○北海道航路は週31便就航しています

常陸那珂ー苫小牧	1日2便（日曜除く）
大洗ー苫小牧	1日2便（日曜除く）
日立ー釧路	1日1便

震災時は，全ての航路が再開するまでに3ヵ月を要し，物流に影響を及ぼしました。

○約7割が北海道航路の貨物が占めています

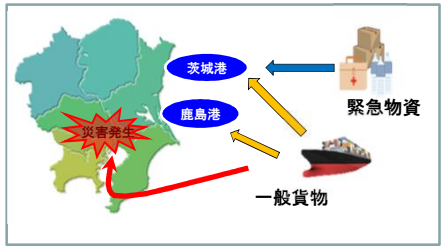
茨城港全体の取扱貨物量（平成26年）
29,002千トン

7割

北海道航路の取扱貨物量（平成26年）
20,524千トン

◇災害時における緊急物資の輸送

茨城の港は県内，北関東などへの緊急物資の輸送や，首都圏における物流のバックアップ機能の役割を担っています。



首都直下地震などにより，京浜港が被災した場合，茨城港・鹿島港から緊急物資を輸送でき，首都圏における物流のバックアップ機能としての役割も期待されています。

・現在，県では，茨城港常陸那珂港区中央ふ頭地区において，耐震性能を強化した水深12m耐震強化岸壁の整備を進めています。（平成28年3月末完成予定）

県内の耐震強化岸壁の数	震災前	→	平成28年
	1ヵ所		4ヵ所